

やはば

議会だより

225
2023.7.25
岩手県
矢巾町議会



気になる事業をピックアップ

新体制始動 各議員の抱負 2

定例会5月・6月会議開催

住民総合ポータルアプリ年内運用目指す 6

町政を問う 一般質問11議員

投票率向上の取り組みは 10

新しい矢巾町議会議員
(関連記事…P2～)

がスタート

9日に開かれ新しい議会構成となり、
谷上知子議員が選出されました。

議長
廣田清実
(町民の会)



矢巾町議会の
代表として

今年4月に行われた町議会選挙を受けて、5月9日の5月会議議長選挙におきまして、議長に就任することとなりました。
就任にあたりましては、何が町民の幸福のためになるか、町政発展のためになるか、議員各位と多くを議論していきます。

こんな町を
目指して
各議員の抱負

副議長
谷上知子
(矢巾未来の会)



あいさつを交わし、子どもの声が響き、弾む会話が広がる町。助け合い、いたわり合い、生きる喜びのあふれる町。矢巾を愛し誇りに想う皆さんとともに。

高橋恵
(町民の会)



少子高齢化が進んでいる中、一人ひとりが生き生きと暮らせる魅力的な町にし、若者を始め、全ての町民がずっと住み続けたいと思うまちづくりを目指します。

高橋敬太
(子育ても老後も)



安全・安心で楽しく暮らせる町。他市町村が憧れる町を目指します。世代・地域・業種を超えた広い視点を常に意識し、みんなが誇れる矢巾をつくりまします。

横澤駿一
(強くやさしい矢巾)



農業、商業の発展とともに、豊かな自然と大地からの恵みを町の宝と捉え、そこに暮らす若者と高齢者が共に支え合う、強くやさしいまちづくりを努めます。

※
ササキマサヒロ
(新誠会)



福祉・雇用・教育を充実させるには、町の財源が増えるアイデアを生かし、町を全国に知ってもらい、活気ある活きた町に行きたいという思いで動きます。

吉田喜博
(町民の会)



企業誘致により雇用の拡大で定住・移住が促進する、心が和む、生活習慣に努める、若い世代が安心して出産・子育てができるように支援する。高齢者、障がい者の福祉の充実。

藤原信悦
(町民の会)



若者が魅力を感じ、安心して働ける場の確保や所得の向上が図られるとともに、世代を問わない学び直しの場づくり、医療、福祉の充実した町づくりを努めます。

齊藤勝浩
(矢巾未来の会)



風光明媚な矢巾の景観と自然をいつまでも保ち続け、機能充実した田園都市となり、行きたくなる・住みたくなる・町民が誇りを持てる町づくりを努めます。

※本人の申し出により、7月1日からカタカナ表記の使用が認められました。

新たな町議会

新たな体制で始動

令和5年議会定例会5月会議が5月 議長に廣田清実議員、副議長には

今年の選挙では多くの新人議員が誕生しました。この機会に、議会は地域にかたよることなく町民全体の代表であることを自覚し、初心にかえて町民の声を聴き町民目線の議会を作っていきたいと思ひますし、大きく変貌し発展する矢中町を、町行政と議会が両輪となって事業を進めていきたいと思ひます。

町長とは、是々非々の立場を貫き、議会本来の任務の一つであります町行政の監視役にもなりながら、議会の代表として中立の立場を貫き、精誠意業務遂行していきます。また、議会の課題といたしましては、議員定数、議員報酬、2015年から施行された議会基本条例、会派制等の見直しを行い、町民に開かれた議会を作っていきます。

最後になりますが、町民のための議会運営に邁進していきたいと思ひますので、何卒よろしくお願ひします。

小川 文子
（日本共産党 矢中町議団）



町民の皆様と一緒に考え、行動します。「生命」と「平和」を守り、誰もが安心して暮らせる町づくりを目指します。

木村 豊
（日本共産党 矢中町議団）



町民と行政の距離を近づけて「住民こそ主人公」という思いで、「おかしい事にはおかしい」と言える一体感のある町を目指し、皆様の声を町政に届けます。

小笠原佳子
（公明党）



今期は環境施設組合の議員をさせて頂きま

ゴミの減量化と資源化を図り、経費を削減させる。それを皆様に還元できる町をつくりたいです。

山本 好章
（新誠会）



安心した暮らしができるよう、子育て支援、教育環境の整備、医療・福祉・介護の充実、スポーツ施設の充実、若者が定住を望む町づくりに努めます。

高橋 安子
（町民の会）



町民皆様の声を町政に届けるとともに、子どもから高齢者までみんなが支え合う地域づくり、命と健康を守る幸福度の高い町づくりに推進してまいります。

水本 淳一
（町民の会）



人口減少が進む町周辺地域に賑わいを取り戻すとともに、誰もが夢と生きがいを持ち、よりよく生きることでできるまちづくりに取り組んでまいります。

村松 信一
（矢中 未来の会）



いま、本当に大切なことは何だろうか。将来世代のためにも皆様とともに考え、実現に向け行動してまいります。「ともに生き、ともにつくる生きがいのまち」

昆 秀一
（新誠会）



笑顔あふれる町づくりのため、是々非々の議論を重ねあらゆる努力を尽くします。さらに、介護・福祉のプロとして、町民が安心して生活できる町にします。

赤丸 秀雄
（新誠会）



子育て支援策は国と県に期待し、高齢者世代が安心して安全に楽しく暮らすやばはば、若い世代が住みたい・住み続けたいと思える町づくりに取り組みます。

各委員会の構成

議員はいずれかの常任委員会に所属し、本会議から付託された議案等を審査します。

総務 常任委員会	総務、政策、財務、税務、防災等に関する事務の調査や請願、陳情等の審査 【委員長】高橋 安子 【副委員長】赤丸 秀雄 【委員】高橋 敬太 ササキ マサヒロ 齊藤 勝浩 廣田 清実
産業建設 常任委員会	農林、商工、道路河川等に関する事務の調査や請願、陳情等の審査 【委員長】吉田 喜博 【副委員長】藤原 信悦 【委員】木村 豊 小笠原 佳子 山本 好章 村松 信一
教育民生 常任委員会	教育・福祉分野等に関する事務の調査や請願、陳情等の審査 【委員長】小川 文子 【副委員長】水本 淳一 【委員】高橋 恵 横澤 駿一 昆 秀一 谷上 知子
予算決算 常任委員会	予算・決算および基金の設置、歳入歳出を伴う条例などの審査 【委員長】昆 秀一 【副委員長】赤丸 秀雄 【委員】議長、委員長、副委員長を除く議員15名
広報広聴 常任委員会	議会広報誌の編集、議会報告会や町民との意見交換の企画 【委員長】藤原 信悦 【副委員長(広報)】小笠原 佳子 【副委員長(広聴)】高橋 安子 【委員(広報)】高橋 恵 高橋 敬太 ササキ マサヒロ 【委員(広聴)】横澤 駿一 齊藤 勝浩 山本 好章
議会運営 委員会	議会の会期日程や議会運営などに関する事項についての調整 【委員長】村松 信一 【副委員長】水本 淳一 【委員】吉田 喜博 小川 文子 高橋 安子 昆 秀一 赤丸 秀雄

一部事務組合

各関係市町で事務を共同・広域処理する組合議会の議員です。

盛岡・紫波地区環境施設組合議会	【議員】藤原 信悦 小笠原 佳子
盛岡市（都南地区）、紫波町、矢巾町の一般廃棄物及び汚泥の収集、運搬、処理や、処理施設の設置と管理に関する事務を行います。	
盛岡地区広域消防組合議会	【議員】高橋 安子
盛岡市、八幡平市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町の消防に関する事務を行います。	
盛岡広域環境組合議会	【議員】小川 文子 谷上 知子
盛岡市、八幡平市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町及び矢巾町におけるごみ処理（ごみの焼却処理等）に関する事務を行います。	
岩手県後期高齢者医療広域連合議会	【議員】村松 信一
75歳以上の高齢者等を対象とする後期高齢者医療制度に関する事務のうち、被保険者の資格の管理や、医療給付、保険料の賦課に関する事務等を行います。	

太陽光発電設備等補助金の補正予算が決まる

5月9日に開催された5月会議では、町議会選挙後初の議会を開催し、議長、副議長を選ぶとともに、一部事務組合議会の議員や人事案件などを審議しました。また、6月7日から6月15日までの6日間で開催された6月会議では、条例改正議案や一般会計補正予算などが議決されました。

5月会議

人事案件

監査委員の選任に同意

代表監査委員

高橋 憲 康 さん
(南矢幅1区)

補正予算

主な歳入

▽個人番号カード交付事業費等補助金 1,481千円

▽デジタル田園都市国家構想推進交付金 41,319千円

▽子育て世帯生活支援特別給付金給付事務費補助金(国庫補助金) 17,043千円

主な歳出

▽地域脱炭素移行・再エネ推進交付金 19,808千円

▽子育て世帯生活支援特別給付金給付事務費補助金(県補助金) 204千円

▽財政調整基金繰入金 44,079千円

▽住民総合ポータルアプリ構築等委託料 82,638千円

▽住民基本台帳事業費 1,273千円

▽子育て世帯生活支援特別給付金(その他世帯分)給付事業費 17,047千円

▽地域脱炭素移行重点対策補助金※ 17,974千円

▽共同調理場工事請負費 4,055千円

主な質疑

質問 マイナンバーの現在の交付率及び今年度の目標値は。

回答 交付率69.9%(暫定値)。申請の仕方等が課題だが、100%を目指す。

質問 住民総合ポータルアプリの活用方法は。

回答 リアルタイムでの町広報を行う。プッシュ機能、夜

間の問い合わせへの自動応答機能等を搭載する予定。効果的な活用方法は今後も検討を重ねる。

質問 町ホームページのリニューアルに向けて、目や耳の不自由な方も利用しやすくできないか。

回答 より良いものを検討。



脱炭素重点対策実施地域ロゴマーク

議会で決めたこと

住民総合ポータルアプリ 年内運用開始を目指す

条例改正

財産取得

矢巾町民総合体育館条例の 一部改正

町民総合体育館のトレーニング室利用者の利便性と施設利用の促進を図るため、新たに回数券を発行するための改正を行います。

質問 回数券導入は嬉しいが、利用期間を定めるのか。

回答 期間制限の予定はない。

質問 回数券により減収が見込まれるのか。利用者増と考えるか。

回答 トレーニング室の利便性向上が目的。減収については見込んでいない。回数券の発行により利用者増を目指す。

質問 回数券は本人以外も使用可能か。

回答 原則、購入者のみの利用であるが、家族も使用可能にできるかどうか、今後、町体育協会と協議する。

消防ポンプ自動車の購入 第2分団第4部の消防ポンプ車を31,295千円で更新を行います。

第2分団第4部の消防ポンプ車を31,295千円で更新を行います。

質問 購入予定消防ポンプ自動車の特徴は。

回答 今回の購入予定車両の特徴は、四輪駆動で座席が2列、準中型免許で運転が可能であること。また、過般ポンプを積載。照明はLED化されており、AT車で操作しやすい最新鋭の自動車である。

補正予算

主な内容は次のとおりです。

主な歳入

- ▽新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 144,324千円
- ▽新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金 1,961千円

主な歳出

- ▽財政調整基金繰入金 10,316千円
- ▽仮設本会議場システム構築業務委託料 2,895千円
- ▽住民税非課税世帯等に対する物価高騰対策給付費 36,900千円
- ▽省エネ家電買換促進補助金 5,000千円
- ▽新規就農育成総合対策事業補助金
- ▽財政調整基金繰入金 1,260千円
- ▽運輸事業者運航支援緊急対策支援金 45,931千円
- ▽小学校建築物定期報告業務委託料 580千円
- ▽中学校建築物定期報告業務委託料 673千円
- ▽新型コロナウイルスワクチン個別接種促進補助金 9,500千円



24年を経過した第2分団第4部のポンプ車

主な質疑

質問 省エネ家電買換促進補助金について、補助の要件を町内事業者で購入することとしないのか。

回答 制度設計の段階で検討したが、消費者への支援が優先されるべきことを踏まえ、町内販売店の数や納入時期等を考慮し、販売店の制限は設けないこととした。

質問 新規就農者の現状と、新規補助金対象者とは。

回答 現在、岩清水行政区在住の夫婦に対し3年間継続して助成している。今回新たに、町外から桜屋行政区に移住されてきた男性で、キュウリ栽培をされる方に対し助成するものである。

質問 小中学校の建築物定期報告業務委託料について、どのような点検か。

回答 建築基準法第12条に基づき3年に1度実施し、県への報告が義務である点検で、

質問 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費の補助対象施設は。

回答 町内にはワクチン接種が可能な事業所が10カ所あり、

うち補助要件を満たす2施設に補助する。

人事案件

監査委員の選任に同意

沼田由子さん
(南煙山)

契約締結

業務委託契約の締結について可決

矢巾町住民総合ポータルアプリ構築及びホームページリニューアル業務委託に関し、プロポーザル方式で業者が選

定されました。

▼契約業者 株式会社JAP

ANDX

▼契約額 82,637千円

主な質疑

質問 見積の精査はどのように行ったのか。

回答 アプリの基本機能やデータ移行、保守管理機能等、複数の項目と見積内容を照合し精査を行った。5月30日に業者とのヒアリングを経て、妥当性を適正に判断。

質問 プロポーザル方式で募集した結果、応募総数は。

回答 応募期間1カ月間で、応募は1社のみであった。

質問 ランニングコストは。
回答 年間700万円程度を想定。

質問 公募型のプロポーザル方式による業者選定とした理由は。

回答 様々な機能に対応できるのかどうか、業者とヒアリングし検証する必要があったためである。

質問 アプリ及びリニューアル後のホームページは、町民はいつから使用できるのか。

回答 アプリは年内の運用開始を目指す。リニューアル後のホームページ利用開始は、新年度からの運用を予定。

みなさんからの せい がん 請 願

安心・安全の医療・介護 実現のため人員増と処遇 改善を求める請願

請願者

岩手県医療労働組合連合会
執行委員長 鈴木 寿子
岩手医科大学教職員組合
執行委員長 柴田 勇樹

紹介議員

村松 信一、木村 豊

全員賛成

採択

審査意見

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、医療と介護の崩壊が現実のものとなった。その主要な原因は、医師、看護師、介護職員、保健師の人手が不足していることにある。さらに人手不足が長年続いている状況の下で、ケア労働者を取り巻く長時間労働や不適切な勤務間隔等の労働問題の解決は喫緊の課題である。

今後、自然災害や新たな感染症への対応のため、平時から必要な人員体制の確保と対策の中心となる公立病院や保健所の機能強化を行うことが必要不可欠と考えることから、本請願の主旨は理解できるものである。

各議案の採決状況

令和5年定例会5月会議

議案番号	提出議案	議員名																採決結果		
		高橋 恵	高橋 敬太	横澤 駿一	ササキ マサヒロ	吉田 喜博	藤原 信悦	齊藤 勝浩	小川 文子	木村 豊	小笠原 佳子	山本 好章	高橋 淳一	水本 淳一	村松 信一	昆 秀一	赤丸 秀雄		谷上 知子	
第36号	監査委員選任の同意（高橋憲康委員）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第37号	令和5年度矢巾町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

令和5年定例会6月会議

第38号	矢巾町民総合体育館条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第39号	矢巾町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び矢巾町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第40号	財産の取得（消防ポンプ自動車）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第41号	令和5年度矢巾町一般会計補正予算（第2号）	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第42号	令和5年度矢巾町水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第43号	令和5年度矢巾町下水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第44号	監査委員選任の同意（沼田由子委員）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第45号	矢巾町住民総合ポータルアプリ構築及びホームページリニューアル業務委託契約締結	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第46号	一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第47号	令和5年度矢巾町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

○=原案に賛成 ●=原案に反対 欠=欠席 可=可決 否=否決 退=退席 注：廣田清実議長は採決に加わらない。



ズバリ

町政を問う

一般質問

一般質問とは、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

6月会議では11人の議員による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。

●昆 秀 一 議員……………P10

- ①投票率向上の取り組みは
- ②多様性を尊重するまちづくりを
- ③農業の未来と食について
- ④DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進
- ⑤いじめと自殺のないまちに

●赤丸 秀 雄 議員……………P12

- ①小中学校生活の課題について
- ②町内公共交通の利便性向上について
- ③町の更なる活性化と町民の声(広聴)対応の必要性について

●高橋 安子 議員……………P14

- ①高齢化社会に関する今後の対策について
- ②死者の尊厳について

●谷上 知子 議員……………P16

- ①特定健康診査と遺伝子検査導入について
- ②あいさつを交わし会話をする町づくりについて
- ③熱中症対策について

●小川 文子 議員……………P18

- ①高区配水塔の廃止・新設計画と水道料金の引き下げについて
- ②今後の農業施策と農業者・畜産農家への支援について

●高橋 敬太 議員……………P20

- ①大規模宅地開発に伴う行政区再編とコミュニティ構築について
- ②若者や現役世代の地域活動について

●村松 信一 議員……………P11

- ①高橋町長の政策について
- ②私立教育施設等への支援について

●高橋 恵 議員……………P13

- ①西部地区の観光振興等について
- ②少子化対策について
- ③小中学生の情報モラル教育について

●横澤 駿一 議員……………P15

- ①空き家及び遊休物件の利活用に対する考えについて
- ②子育て支援について

●木村 豊 議員……………P17

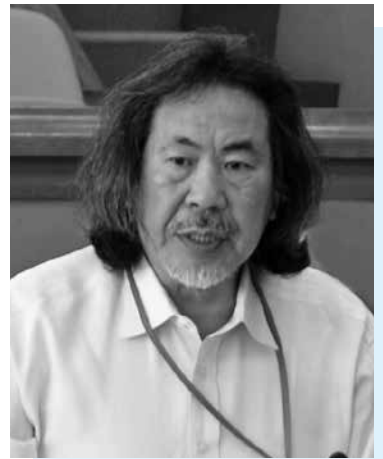
- ①町道西部開拓線における自動車破損事故について
- ②予約型乗合バスについて

●小笠原 佳子 議員……………P19

- ①带状疱疹ワクチンの接種費用の助成について
- ②行政サービスの質の向上について
- ③矢巾斎苑の運営について

※次ページからの各議員の質問と答弁は、紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。
詳しい内容は、議会事務局にお問い合わせください。☎019-611-2801

町議選投票率の分析は 政治離れが顕著に表れた結果



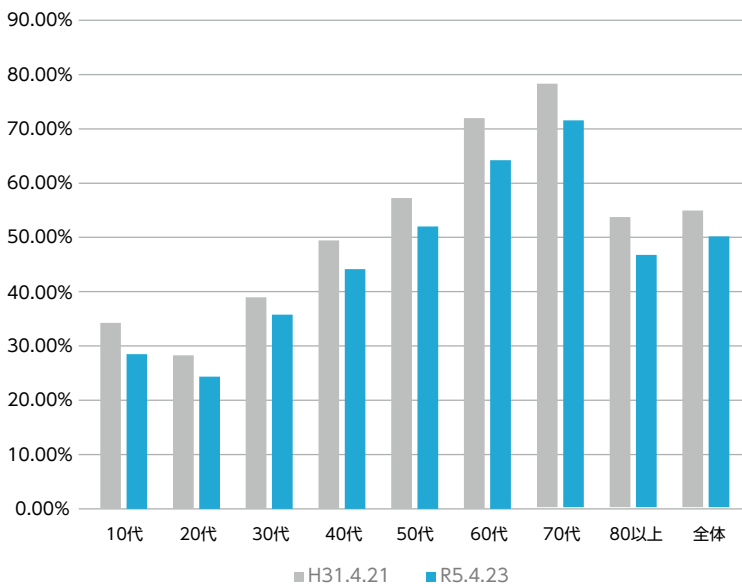
こん しょういち 議員
(新誠会)

質問 先頃行われた町議会議員選挙の投票率は49・85%と過去最低であった。この結果をどう受け止め、分析を行ったのか。

選挙管理委員長 前回の町議選を下回る結果となり、全国的に各年代で投票率が低下している。全国的にも同様であり、この傾向は有権者の政治離れが顕著に表れた結果であると捉えている。
また、一方では期日前投票者が増加傾向にあり、期日前投票制度が着実に定着していると認識している。

質問 若年層の投票率をどう上げていくつもりなのか。
選挙管理委員長 選挙啓発授業等を行い、選挙の意義を伝える主権者教育に努める。

矢巾町議会議員選挙投票率



質問 同性同士の婚姻が認められていない日本で、自治体が独自にLGBTQカッパルに対して、結婚に相当する証明書を発行し、様々なサービス

スや社会的配慮を受けやすくするパートナーシップ制度の本町での推進状況はどうなっているのか。
町長 パートナーシップ制度に加え、ファミリーシップ制度の導入を目指し、男女共同参画推進懇話会で意見をいただき手引きの案を作成している。また、関係課等で協議し、導入に向けて進めている。

質問 学校教育の中での食育の考えと取り組み状況は。
教育長 食育は子どもたちが一生涯にわたって健やかに生きていくことができるよう、その基礎を作るためのものである。各学校が家庭や地域と連携を図りながら取り組んでいくことが重要と考えている。子どもたちが農業の大切さを学び、健全で健康な食生活を送ることができるよう取り組みを進めている状況である。

質問 有機農業や循環型農業の取り組みの進め方は。
町長 みどりの食料システム法に基づき、「岩手県環境負荷低減事業活動の促進に関する基本的な計画」を策定し、今後、有機農業など環境負荷の低減に取り組む農林業者を支援する。

循環型農業の
進め方は
みどりの食料
システム法で支援

私立高等専修学校の支援策は 国の臨時交付金を活用



むらまつ のぶかつ
村松 信一 議員
(矢巾未来の会)

質問 それぞれの個性・特質に応じた配慮のもと、少人数で学びの場を提供している町内の星北高等学園に対し、支援を強化してはどうか。

町長 地方創生臨時交付金を活用し緊急支援金のほか、県の運営費補助金の増額が図られるよう支援する。公民館などの主要施設については減免措置を実施している。

特産品の開発状況は

仕組みづくりが必要

質問 農畜産物の強みを生かした「やはばブランド」開発の課題、問題点、反省点等、状況を取りまとめているか。

町長 生産・加工・流通・販売について仕組みづくりが必要であるが、取りまとめはしていない。

質問 今後の業種連携による6次産業化の計画は。

町長 市場に回ることをのなかつた規格外野菜等をカット野菜とし、飲食業者や医療福祉施設等で食事の提供に使用する等の考えがある。

質問 地域情報発信ステーションにおいて県内市町村の特産品を販売してはどうか。

町長 事業者との協議が必要となるが、まずは普代村の特産品について試験販売を行う。



星北高等学園授業風景

ゴミ減量化の

取組み状況は

事業系古紙類の 搬入規制

質問 ※パーク入り生ごみ回収時の水分減少効果は。

町長 令和2年から実施し、実施前後2年間の比較では、3,300㎡に対し1,473㎡に減少し半減以上の効果があつた。

質問 脱炭素として取組む、ごみの資源化事業の状況は。

町長 事業系古紙類を資源回

収業者へ直接引き渡し燃やせるごみの減量化に努めている。

農業上の

土地利用計画は

農業振興整備計画 を見直す

質問 農用地の有効利用として生産性と競争力を高めるための対応、また市街化区域拡大による企業誘致は。

町長 農業振興地域整備計画を見直し、都市計画マスタープランの一部を改訂し工業団地等の造成も検討したい。市街化区域拡大等について様々な活用を検討する。

質問 田んぼダムの状況は。

町長 煙山西部地区の同意を得た13ヶ所で実施のほか、町内2地区の、ほ場整備地区で新たな導入を目指している。

質問 田んぼダム化のため水量調整装置の製作費用の支援が必要では。

町長 様々な装置が考えられており、現在は政策費用の支援は考えていない。

通学路に防犯灯の増設を 地元自治会と協議し対応



あかまる ひでお 議員
赤丸 秀雄
(新誠会)

質問 町内の一部小中学校付近に夕暮れ時、路上が暗く安心・安全に帰宅できないという声が多い。是非、防犯灯設置の増設が必要と思うが。

町長 防犯灯は地元自治会の意向を尊重し、対応している。今後も自治会の意向を尊重しながら対応を継続する。

質問 自治会の中には、これ以上の設置費や電気料金負担が厳しく、安全確保とは言え設置に躊躇する自治会もあると聞くが。

町長 地域のご協力もいただきながら協働により安全確保に努めたい。

学校教育でのICT活用状況は



セキュリティ研修を受講する教職員

活用時間も増え 順調に利用

質問 学校、家庭でのタブレット端末利用と教師等のスキル研修状況は。

教育長 学年ごとに違いはあるが、授業時間の2〜4割程度で活用している。

また、教職員の研修を昨年度は20回を超える開催を行いスキル向上に努めている。家

庭のインターネット環境も確認済みで、現在は家に持ち帰って学習に役立てている。

町内移動の 交通網確立を ニーズを把握する

質問 運行している予約型乗り合いバスは、交通弱者から使い勝手が悪いと不評であり、

改善が必要では。
町長 他自治体の運行内容や町内の利用せざるを得ない方等のニーズ把握を再度行う。

質問 他自治体運行で共通していることは、全住民の8割を超えるエリアに乗降場所を300メートル以内に設置していること、運行内容を周知徹底していることであるが。

町長 運行内容の再周知と他の運行状況を把握して、利便性向上に努める。

近助の絆で まちづくりを コミュニティ を高める

質問 コロナ禍や個人情報保護制度などにより自治会活動が低迷している。

困っている方に手を差し伸べる取り組みが必要と思うが。
町長 社会環境の変化もあり、町もコミュニティの活性化や共助・近助の絆が確立できるように検討する。

人口減少対策の考えは 中長期的な支援・施策を



たかはし めぐみ
高橋 恵 議員
(町民の会)

質問 人口減少対策についてどのように考えているか。

町長 喫緊の課題だと認識している。一時的な支援のみならず中長期的な支援・施策を継続し、人口減少に歯止めをかけられるよう引き続き努力する。

質問 本町の未婚率はどのくらいか。また、その原因は。

町長 約33%となっている。国全体の問題で、非正規雇用割合増加が起因で低所得者層が増えている結果、結婚しなくてもできない、結婚そのものを諦めざるを得ない状況と捉えている。

**西部地区の
観光振興は**

滞在型観光を 展開推進する

質問 町産食材を使った新しい食の創出や温泉・自然を活用して観光誘客できないか。

町長 農産物のメニュー化について提案をいただき、食のイベントで披露する。また、温泉・自然を活用した滞在型観光を展開推進する。

質問 西部地区に設置されている施設を活用し観光誘客事業を展開する計画は。

町長 南昌山山開きで展望台落成イベントを実施済み。ジャンパランドは民間事業者による



煙山ひまわりパーク

るイベント計画がある。他、煙山ダムの湖面利用イベント、城内山の初日の出参拝ツアーなどを企画したい。

小中学生の 情報モラル教育は 授業の他、講演会 等を行っている

質問 町内小中学校のスマートフォン・タブレット等所持に関する教育委員会の見解は。

教育長 令和2年7月の文部科学省通知において「小中学校への持ち込みは原則禁止とする」と示されており、令和2年8月保護者に通知している。所持は各家庭の判断による。

質問 情報モラル教育の取り組み状況は。

教育長 社会科や道徳科等で実施している。他、専門家による講演会開催、学期末面談時スマートフォン利用の啓発動画を保護者と子どもが一緒に視聴する時間を設けている。

高齢化社会 今後の対策は？

認知症サポーター 中学生講座も検討



たかはし やすこ
高橋 安子 議員
(町民の会)

質問 高齢化社会と言われる現在、本町では令和4年11月「認知症の人にやさしい町づくり やはば」宣言をした。あらゆる機会、年代を対象に認知症サポーター養成講座を実施しているとの事だが、小学生中学生はどの学年が対象か。

町長 現在は小学校4年生を対象に実施しているが今後は、中学生も対象に開催できるように検討する。

学校以外には、特定の地域ではないが町社会福祉協議会やPTA活動の一環としても講座を開催している。



サロン花やはば体操クラブ

質問 核家族化が進行している今、夏休みなど長期休業中に開催されるエンジョイセンターのサロンに、小・中・高校生等のボランティアを参加させる考えは。

町長 大学生ボランティアの育成及び活動を進めているところであるが、小・中・高校生ボランティアの育成活動については、関係機関と相談して進める。

質問 独居や高齢者世帯が増加しているが、孤独死や災害対策として、空き家を共同住宅として活用する考えや自治公民館を整備し活用しての共同生活を地域で見守るシステムを構築する考えは。

町長 一人暮らし高齢者の見守りは大きな課題であると認識している。しかし現時点では考えていない。

無縁遺骨の扱いは 第八次総合計画 で検討予定

質問 引き取り手のない無縁遺骨が増えているとの報道があるが、本町では無縁遺骨として保管されている遺骨はあるか。

町長 現在一人の遺骨を矢巾斎苑で保管しており、遺品等の整理が終わったら、寺院に埋葬する予定。

質問 今後、様々な事情で引き取り手の無い遺骨が多くなることが懸念され、合葬墓を希望する人も増えると思うが、火葬場移転や合葬墓を建立する考えは。

町長 次期火葬場の整備について、火葬場、霊園及び合葬墓を一体として整備している自治体などの情報収集を行う。そして関係機関の意見を伺いながら、第八次総合計画において整備に関する検討を始めることを盛り込む。

空き家・遊休物件の利活用は 官民一体の取り組み強化



よこさわ しゅんいち
横澤 駿一 議員
(強くやさしい矢巾)

質問 これまでの空き家の利活用実績は。

町長 本年5月末現在、解消実績は11件。

質問 旧パストラルバーデンの今後の利活用の考えは。

町長 施設は民間の所有であり、所有者から今後の利活用について相談等があった際は、西部地域の観光レクリエーションの活性化に寄与する利活用を一緒に検討する。

質問 耕作放棄地について、水田活用交付金の見直しによりローテーションで水張りをし、水張り後、耕作しない農地も出てくると考えるが、こういったケースに対応する適正な農地利用の考えは。



旧パストラルバーデン(現在は民間所有)

農業委員会会長 農地利用に係る意向調査を行い所有者等に適正な農地利用を促していく。

質問 空き家バンクへの登録以外で、官民一体での、もう一步踏み込んだ遊休物件の利活用へ向けた取り組みは。

町長 空き家が利活用できる状態を目指す段階から多様な業種との協働を進めていく。

「共に育む」
子育て支援が
必要では
多様性を尊重し
支援していく

質問 本町で子育てするにはどのくらいの費用がかかるのかを示した「子育て世代マスタープラン」(仮称)のよう

なものを策定することが継続的な子育て支援に繋がるのでは。

教育長 時機を見て必要に応じて検討する。

質問 町内の保育園において医療的ケア児の受け入れが実現したが、今後も医療的ケア児の入園希望者があった場合、職員の体制等を含め、継続的に受け入れ可能か。

教育長 矢巾町保育所等における医療的ケア実施ガイドラインに基づき、継続的に受け入れていく方向である。

質問 小学生の発達障がい児は増加傾向にあり、未就学時期からの支援が必要と考えるが、専門的な知識をもつ職員の実数とその対応は。

教育長 現在、専門的な知識を持った職員の実数は把握していない。

未就学時期の発達特性には個人差があり、明確な区分けができない場合が多い。小学校入学前の子どもに対し適正検査を実施している。

町づくりは明るいあいさつで あいさつ運動に努める



谷上 知子 議員
(矢巾未来の会)

質問 コミュニティ活動や健康福祉の向上を目指し自助・公助・近助の活動を提案されています。ご近所の交流を活発にする取り組みは。

町長 地域内のお祭りや運動会・伝承活動等に、子ども会・老人クラブ・自主防災会・消防団・青年会・婦人会等の団体が枠を超えて参加することで地域の活性化につなげ、持続可能なコミュニティの形成が図られると考える。

質問 あいさつと会話のある生活を作り出すには。

町長 あいさつはコミュニケーションの最も基本的なツールであり、どの年代においても相手への尊敬や親愛の気持ちを表す動作や言葉である。気



おはようございます。いってらっしゃい。

持ちを交わし会話を交わす第一歩である。あいさつの重要性を理解し家庭・学校・地域におけるあいさつ運動や啓発活動に努める。

特定健診と 遺伝子検査の導入

勧奨はがき等で
受診率向上を

質問 特定健康診査が、第七次矢巾町総合計画後期基本計

画の目標値70パーセントに届かない要因は。

町長 受診控えや、令和3年度から健康実施体制を集団健診から個別健診のみの実施に変更したことの周知不足が挙げられる。チラシや勧奨はがきで受診率向上に努める。

質問 特定健康診査の一人当たりの費用は。

町長 1人あたりの単価は、11,180円。

質問 遺伝子検査の導入は。

町長 研究が進められており、費用対効果や告知等に係る倫理面の検討結果を踏まえ国の指針に基づき検討する。

弱者への熱中症 対策は

身近な支援者の対応で予防

質問 高齢者の方や障がいをお持ちの方の熱中症対策は。

町長 両者とも、症状を思いどおりに伝えられない等リスクが高い。ご家族や民生児童委員等の身近な支援者が声かけ等を行っている。

質問 弱者への冷房機器補助支援は。

町長 現在は考えていない。

質問 教育機関での対策は。

教育長 小中学校は空調機器設置済み。水分や塩分の補給を周知している。

道路損傷による車両破損 事故への対応は

破損注意看板の設置を検討



きむら ゆたか
木村 豊 議員
(日本共産党矢巾町議団)

質問 町道西部開拓線における自動車破損事故について

町長 冬季に凍結等が多発する路線であるため、12月から3月までの凍結が予想される日の前後の午前中にパトロールを行っており、おおむね週1日から4日ほどの頻度となっている。

パトロールにより損傷を予防することは難しく、前日の路面損傷を修繕する対応が中心となっているが、町道の破損等は、情報提供体制が構築され、各行政区のご協力をいただぎ早期発見に繋げている。

南昌台団地入り口交差点



デマンド交通乗降場所のサインタワー →

質問 道幅が狭い上に、大型車や通勤車両など交通量の多い路線であるため、「道路破損注意」や破損情報提供の連絡先が書かれた看板等を設置してはどうか。

町長 注意喚起の看板等の設置については、適切な対応ができるよう検討する。



料金の見直しと 広域化について

近隣市町村と

引き続き協議

質問 予約型乗合バスの利便性について

町長 交通事業者は新型コロナウイルス感染症禍による利用者の減少、運転手のなり手不足、さらに追い打ちをかけるように燃料の高騰などが重なり非常に苦しい経営状況に陥っている。

今後とも運賃改定が想定される中で、予約型乗合バス（デマンド交通）事業を維持していくために、負担金の増額に対応しながら現状の運賃体系を継続できるよう努める。

本年度、盛岡都市圏地域公共交通会議を設立し、広域の計画策定を目指し、現在、盛岡市・滝沢市と協議を進めているが、市町をまたいだデマンド交通の運行を求める需要は高まっていることから、紫波町を含め広域の計画に位置付けられるように引き続き協議する。

水道料金の引き下げを 断減水回避のため困難



おがわ ふみこ 議員
小川 文子 (日本共産党矢巾町議団)

質問 西部地区高区配水塔の廃止と西部浄水場への新設計画が示されたが国庫補助の可能性はあるか。

町長 施設解体に係る4億円は可能性があるが配水池建設の6億円にはない。

質問 配水地・ポンプ圧送の整備に係る基本設計・詳細設計の経費、ポンプ圧送に係る電力経費をどの程度見込んであるか。

町長 設計の経費は4875万円余、電力経費は令和3年度の試算では年間約510万円と見込んでいる。

質問 上流部に県が2基、林野庁が1基、合計3基の治山ダムが建設されたことから同地域は土砂災害区域であるがリスク評価はどうか。



高区排水塔の上流部にある治山ダム

町長 イエローゾーンであり、レッドゾーンではない。

質問 現状のリスク評価であれば少なくとも法定耐用年数の残る5年間は自然流下で電力の必要のない高区配水塔を有効活用した方が住民負担の軽減になるのではないか。

町長 熱海の土砂災害を思えば計画通りに工事を進める。

質問 水道会計が過去5年間県下1位の高収益率であることから物価対策として料金の引き下げができないか。

町長 断減水などのリスクを回避し安全安心な水を供給するため値下げは困難である。

農業・畜産農家への支援策を

町独自に支援する

質問 物価高で農業、特に畜産農家が打撃を受けており町独自の支援が必要と考える。

町長 牛・豚・鶏を飼養している畜産農家に対し、飼養頭数に応じて給付金を支給し、支援する。農業者には今後の情勢を見極め関係機関と連携しながら進める。

質問 6次産業化の取り組みをどう進めていくか。

町長 町独自の補助金を活用した事業を推進している。過去には乾燥カット野菜の製造などもある。

質問 米粉の加工・活用はどうか。

町長 米粉を使用した商品のレシピ開発事業の申請が1件あったが、町内に米粉を専門に取り扱っている集出荷業者が少ないことから加工が進んでいないが、今後町産米粉の6次産業化も視野に入れて情報収集して取り組む。

带状疱疹ワクチン接種は 助成制度新設へ



おがさわらよしこ
小笠原佳子 議員
(公明党)

質問 带状疱疹は子どものときの水ぼうそうのウィルスが神経節に潜んでおり、加齢やストレスで免疫力の低下により、活性化し発症する。80歳までに3人に1人は発症すると言われている。

皮膚の症状だけではなく、神経にも炎症が起こり、皮膚症状が治っても長期にわたって痛みが続くこともある。

そのため、生活の質の低下を招き、罹患者は苦しんでいる。けれども带状疱疹ワクチン接種費用が高額であり、接種は進んでいない。

そこで接種費用の助成について伺う。

町長 带状疱疹発症の状況やワクチン接種希望者の状況等



グラクソ・スミスクライン株式会社「带状疱疹予防.jp」より

について、紫波郡医師会等から専門的知見をお伺いしながら、助成制度新設について、速やかに検討する。

行政サービスの向上は

デジタル化の推進で

質問 行政手続きのデジタル化により、利用者の利便性の向上、業務の効率化やコスト

削減、災害時の行政機能の維持が図れる。

コンビニ交付、「書かない窓口」「行かない窓口」についての現状とマイナンバーカードでの問題が発生した場合の対策について伺う。

町長 コンビニ交付は令和4年度は、3,955件で増加している。

「書かない窓口」については転入、転居の異動手続きの際、一部導入している。

「行かない窓口」について

はマイナンバーカードを用いたコンビニ交付で一部可能であり、今後はマイナンバーを活用してのオンライン申請等の拡大を図っていく。

マイナンバーカードについては健康保険証との紐づけにおいて、市町村の保有情報を活用するため、手入力の誤りは発生しないと考えている。

矢巾斎苑の運営については 残骨灰については 現状が最善

質問 ※残骨灰の有価物の取り扱いは、故人への尊厳やご遺族の心情に配慮が必要だ。しかし自治体が売却し、その収益を火葬場整備費用にする事例がある。当町での見解を伺う。

町長 残骨灰は宗教的感情の対象ともなり得ることから、自然サイクル保全事業協同組合に属している残骨灰処理業者に委託する現行が現状では最善と考えている。

どおり 「不來方通」という 住所新設を

住居表示は町内全域で検討



たかはし けいた 議員
高橋 敬太
(子育ても老後も)

質問 行政区再編により地番は「南矢幅」、行政区は「矢中」となる地域があり、分りにくさが生じるが。

町長 広報やばは5月号では矢中四区、五区、六区と仮称表記したが、地元からの強い要望を受け南矢幅八区、九区、十区とする。

質問 名前には強い愛着がわくものである。不來方高校も統合で校名が変更となる報道もあり、町民はとても残念に思っている。現在開発が行われている田中・下花立地区の住所は住居表示を用いて「不來方通」とすれば全体的にも分かりやすくなると思うが。

町長 住居表示を実施するのであれば、一部ではなく町内全域で検討する。



開発が進む田中地区と不來方高校

地域課題解決の 具体的な方針は 情報共有ができる 体制を整備

質問 行政区により人口密度に差があり、負担が増加している地域がある。施政方針の「近助」によるまちづくりはまさに私の公約の柱の1つであり一緒に取り組みたい。具

体的にはどのような課題解決を見込んでいるのか。また、その取り組み方法は。

町長 隣組のコミュニティを想定し、災害時の避難や見守り機能の強化、乗り合いによる移動支援等により安心できる環境が整備される。

各地域で行われている良好な取り組みを共有できる仕組みづくりが重要であり、今後は各地域に向向して課題を把握し、体制整備を進める。

地域による 子どもの教育は 将来を担う リーダー育成を

質問 地域や社会の問題を意識し、課題解決に取り組む探求心を育むことが重要であると考えますが、本町の取り組みや今後の展望は。

町長 子どもたちの自主的な活動に支援を行う。特に子ども会リーダー研修会は主要な事業である。

教育長 小学校では地域探検活動や社会科見学、中学校では職場体験や進路学習が行われており、子どもたちが地域や社会への参画意識を育む取り組みを実施している。

質問 ファミリーサポートセンター事業について。援助会員不足の対策は。

教育長 引き続き養成講座を開催し、支援団体とも連携して人材確保に努める。

政務活動費 公表します

町政に成果を反映

会派名	町民の会	一心会	矢巾明進会	日本共産党	令和やはば	公明党	
所属議員	廣田清実 高橋安子 水本淳一 藤原信悦 吉田喜博 高橋七郎	山崎道夫 廣田光男 藤原梅昭 昆 秀一 赤丸秀雄	長谷川和男 村松 信一 藤原 由巳	小川 文子 川村よし子	谷上 知子	小笠原佳子	
収入	政務活動費① 1,152,000円	960,000円	576,000円	384,000円	192,000円	192,000円	
支出	調査研究費	304,320円	408,990円	162,484円	125,457円	125,455円	196,634円
	研修費	0円	8,600円	0円	0円	0円	0円
	会議費	0円	8,400円	0円	0円	0円	0円
	資料作成費	0円	0円	0円	0円	0円	0円
	資料購入費	0円	0円	0円	0円	0円	0円
	広報費	0円	244,530円	0円	73,480円	0円	0円
	事務費	0円	0円	0円	0円	0円	0円
合計②	304,320円	670,520円	162,484円	198,937円	125,455円	196,634円	
収支差引残額 町に返還する金額 ①-②	847,680円	289,480円	413,516円	185,063円	66,545円	0円	

政務活動費ってなに？

議員の調査研究活動の充実を図るために、必要な経費の一部を補助するものです。

矢巾町では、会派に対して令和4年度は議員一人あたり月額1万6千円を予算に計上しています。

お金が余ったらどうするの？

政務活動費に残額が生じた場合は町に返還します。また、不足した場合は個人負担となります。

もっと詳しい内容を知りたいときは？

収支報告書や領収書などの明細は、矢巾町議会ホームページでご覧いただけます。また、役場4階の議会事務局でも閲覧できます。

主な調査研究・研修活動など

会派名	内容	開催日
公明党 令和やはば 日本共産党 矢巾明進会	視察研修：全国1位のリサイクル活動とSDGsの取り組みについて（鹿児島県曾於郡大崎町）	令和4年5月12日 ～14日
町民の会	視察研修：水田活用の直接支払交付金やギャンブル依存症支援団体グレイス・ロードの活動状況と問題点について（東京都、山梨県甲斐市）	令和4年11月9日 ～11日
一心会	視察研修：地域公共交通の運営状況や空き家バンクの取り組み成果と独自管理システムの運用状況について（愛知県武豊町、南知多町）	令和5年2月13日 ～14日

矢巾町政調査会 研修会を開催

矢巾町政調査会では、令和5年5月22日（月）に研修会を開催。

岩手県町村議会議長会参与 米田武美^{まい たけみ}氏を講師としてお招きし、「地方議会制度の機能と役割」というお話を受講しました。今回は一部抜粋してお知らせします。

講師のおはなし(抜粋)



米田武美講師

住民との信頼関係を

地方議会は、住民を代表する選挙で選ばれた議員で組織され、地方公共団体の意思決定機関であり、重要な役割を担っています。

一方で、議員ってどんな仕事をしているのか、議会ってどんな組織なのか、理解されていないことも多いです。

この住民の疑問を解決するために議員は、住民の意思を引き受けて誠実に活動を行いながら、住民と信頼関係を築いていくことが重要です。

議員の守るべき義務

議員として守るべき義務は3つあります。

◆会議に出席する義務

正当な理由があるとき以外は、招集に応じること。

◆規律を守る義務

住民の代表として、品位を保持し、法令等を遵守し合理的かつ能率的な議会審議と秩序保持に努めること。

◆懲罰に服する義務

懲罰を受けたときはそれに従うこと。

地方自治の本旨

◆住民自治 地方（地域）のことは、そこに住む地域の人たちが自らの判断と責任で決めること。

◆団体自治 その地域の住民で決めたことは、ほかの団体（県や国）から干渉されることがないこと。

この2つが、地方自治の本

住民自治



団体自治

来の中心的な考え方です。



受講の様子

議会の機能3つ

◆重要な政策の決定機能

具体的な政策について審議・判断し、執行するための最終決定権を担う。

◆条例等の発案と議決機能

条例案や意見書案などを発案し、これらの決定権を担う。

◆財政運営の監視機能

財政の運営が適正に行われているか監視する役割を担う。

町政調査会とは？

町政調査会は、町政の振興発展に寄与し、会員相互の親睦及び融和を図ることを目的として、町政に関する調査・研究やその他目的達成のための事業を推進する、議員全員で構成される組織です。

会長 水本 淳一
副会長 小笠原 佳子

私も



ひとこと!

議会を傍聴して



しまだ みつひろ
嶋田 満弘さん
(南矢幅5区行政区)

矢巾町民になって31年目になります。昨年3月で退職して、いつか町議会を傍聴したいと思っていましたところ、応援させてもらっている議員さんから、傍聴してほしいと声をかけていただき、今回初めて傍聴いたしました。

私が傍聴したのは、令和5年定例会6月会議の中の、議員2名の一般質問です。

質問事項に対する答弁、答弁に対する再質問、再質問に対する答弁と、4、5回繰り返されることもあり、白熱した議論を拝見させていただきました。とても勉強になりました。

今後とも傍聴に参加し、さら時間でも傍聴につくって、さらに「やはば議会だより」も今まで以上に関心を持って読んでいきたいと思いました。



議員の紹介、議会日程、議会定例会の記録や一般質問の録画中継などを掲載しています。

議会ホームページを開設しています

●矢巾町議会のホームページ

<https://www.town.yahaba.iwate.jp>

矢巾町議会 検索

●QRコード

スマートフォンなどで読み取ると議会ホームページにつながります



インターネット録画中継もご覧ください！



議会基本条例の中にある町民に開かれた議会を目指し、積極的な情報公開に取り組むことからインターネット中継は重要なものです。矢巾町議会は、今後もさらに情報公開を進め、議会へ関心を持ってもらえるように活動していきます。

議会中継(録画)

ここをクリック！



阿部さんが船長を務めた「たつまい」(水産庁漁業取締船)

矢巾町シルバー人材センター

あ べ かつ ろう
理事長 阿部 勝郎 さん (広宮沢1区行政区)

海からこの町へ

私は沿岸、山田町の出身です。仕事は40年以上海上で働いてきました。東日本大震災で被災し12年前に矢巾町に移住しました。

次男が矢巾町に住んでいたことと、避難所「織笠保育園」に矢巾町の給水車がいち早く来てくれたことが決め手でした。私は津波に飲み込まれ、溺れながらも泳いで助かりましたが、近所で20人くらいの方が亡くなり、かさ上げしても、そこに住み続ける決心はできませんでした。

次男の家で避難生活をするうちに矢巾町の住みやすさを知り、広宮沢に新築しましたが、地域との交流はなく、友人・知人の少なさに絆の大切さを痛感しました。友人・仲間が欲しくて「シルバー人材センター」を訪ねました。いざ働こうとしても特別なことできず、清掃の仕事をしたい。

ました。初めての陸上での労働、これがまた結構面白く、新しい世界が開けました。そこで「オレンジボランティア(ねこの手)」に誘われて3年間活動しています。年齢が自分とあまり変わらない人たちのお世話をすることは勉強になります。会員は女性が多く、数少ない男性として頑張っています。男性でなければできないこともあり、行ったら喜ばれると嬉しいです。ぜひ皆さんも参加してみませんか。

私の趣味は、トレッキングで、花の写真を写し、プリントアウトして自画自賛しています。身体を鍛えるために、矢巾町民総合体育館トレーニング室で汗を流しています。矢巾町に来てから花を育てることが大好きになりました。先生は、妻とパソコンです。花って夢があつて良いですね。

矢巾町に来てから花を育てることが大好きになりました。先生は、妻とパソコンです。花って夢があつて良いですね。

あ と が き

5月9日の初議会を終え、約1か月後に開かれた6月定例会も無事に終了しました。今後も、町民の熱い思いを胸に、日々の活動に邁進していきます。



本号より広報編集委員は、左記のとおり新たな構成となりました。編集にあたっては、号を重ねる毎に親しみのもてる、読みやすい広報誌になるよう取り組んでまいります。皆様からの忌憚のないご意見・ご助言をお待ちしております。

広報広聴常任委員長 藤原 信悦

発行・編集責任者

議長 廣田 清実

編集委員
委員長 藤原 信悦
副委員長 小笠原佳子
委員 高橋 恵
高橋 敬太

ササキマサヒロ

表紙によせて



過去のやはば議会だよりは右のQRコードからご覧いただけます。

